

# 令和3年度 後期車体整備技能講習生 募集案内

1. 開催期間 令和3年10月9日(土)～令和4年3月13日(日)
2. 受付期間 令和3年8月30日～9月3日 9:00～17:00
3. 募集要項 **※希望者が少ない時は、実施されない場合があります。**

	定員	受講料(教材費・税込み)	
車体整備	20名	会員	76,000円
		一般	98,000円

## 4. 申込時に準備するもの

- ① 受講料
- ② 受講申込書 (車体は次ページ、2.3級整備士は振興会ホームページより印刷)
- ③ 申込者の印鑑(シャチハタは不可)
- ④ 実務経験証明書 (所属事業場責任者氏名 記名・捺印)

所属事業場責任者とは 事業者又は工場長等を指す

※車体整備士の実務経験について

『受講申込書』の実務経験記載欄の『認証番号又は承認番号』欄が未記載の実務経験者については、別紙の『実務経験証明書』の提出が必要になります。

- ⑤ ハガキ 1枚 (受講者本人の宛名記入)

## 5. 受講資格

車体整備 講習修了日の前日に於いて、実務経験が1年以上の経験があること。

## 6. 後期講習会日程(予定)

10月	11月	12月	1月	2月	3月
9日/土	6日/土	4日/土	10日/月	5日/土	5日/土
17日/日	14日/日	12日/日	15日/土	13日/日	12日/土
23日/土	20日/土	18日/土	23日/日	19日/土	13日/日
30日/土	27日/土	26日/日	29日/土	27日/日	
	28日/日				

お問い合わせ先

鹿児島県自動車車体整備協同組合

鹿児島市谷山港2丁目4番10号 鹿児島陸運会館内

電話 099-261-9166 FAX 099-261-8535

# 受 講 申 込 書

令和 年 月 日



一般社団法人 鹿児島自動車整備振興会技術講習所 所長 殿

自動車整備技術講習を受講いたしましたので受講料を添えて申込みます。

受 講 種 目	受 付 番 号
2級ガンリン	※第 期
3級シヤシ	受 講 番 号
3級ガンリン	修 了 番 号
<b>車体整備</b>	

本 籍	鹿 児 島 県		市 郡	丁 目	番 地
現 住 所	(〒 - ) 市 郡	丁 目	町 村	番 地	電話 市外局番 ( ) ( - )
(ふりがな)	性 別		男 ・ 女	生 年 月 日	昭 和 平 成
氏 名	(印)				
勤 務 先	会 社 名	社 名	所 在 地		
実 務 経 験 証 明 (2級は3級合格後)	期 間	会 社 名	職 名	作 業 内 容	在 職 証 明 欄 (事業主・工場長・店長等)
記 入 例	H3年 4月 1日から H4年 4月 31日まで	鹿児島金塗装工場	車体工	車体整備	左の在職期間は事実上相違ない 所属工場責任者氏名 鹿児島 太郎 (鹿児島 県)
	年 月 日から 年 月 日まで				左の在職期間は事実上相違ない 所属工場責任者氏名 (印)
	年 月 日から 年 月 日まで				左の在職期間は事実上相違ない 所属工場責任者氏名 (印)
	年 月 日から 年 月 日まで				左の在職期間は事実上相違ない 所属工場責任者氏名 (印)
合 計	年 月				※
整備士合格	昭和 平成	年 月 日 合格	第 号	合格後の経験年数 (2級受講者は必ず記入の事)	年 月 日 確 認 印
実務が短縮される学歴	昭和 平成	年 月 日	(卒業) 科 課程	卒業(修了) 科 書 番 号	第 号

[注]

- (1) ※印には記入しないこと。
- (2) 該当欄はもれなく記入すること。
- (3) 受講申込みの際技能者手帳又は合格証書を提示すること。
- (4) 訓練校又は学校(機械科)卒で資格の生じるものは卒業(修了)証書を提示すること。
- (5) 講習開始後受講を取り消しても受講料の払い戻しはしません。(受講できなかった場合も含む)

※  
総確認印

# 受 講 申 込 書

令和 年 月 日  
 一般社団法人 鹿児島自動車整備振興会技術講習所 所長 殿  
 自動車整備技能講習を受講したいので受講料を添えて申し込みます。

鹿島

必ず捺印を  
押印する

受講種目	2級ガンリン 3級シヤシ 3級ガンリン <b>車体整備</b>	※第 期
受講番号	63-90	受付番号
修了番号		受講番号

本籍 鹿児島 都府県 鹿児島 市郡 鹿児島 町村 谷山港1丁目 番地 63-90

現住所 (〒 891-0031) 鹿児島 市郡 鹿児島 町村 東開3丁目 番地 インセルクオート503 方

電話 市外局番 ( 099 ) ( 298-3359 )

氏名 (ふりがな) かしま せい たいろう 鹿島 性別 男・女 昭和平成 50 年 12 月 30 日生

勤務先		社名		所在地	
鹿児島 鹿児島 市郡 鹿児島 町村		東開3丁目		番地 インセルクオート503 方	
電話 ( 298-3356 )		市外局番 ( 099 ) ( 〒 895-0003 )		鹿児島市山田町9856-365	
記入例	期間	会社名	職名	作業内容	在職証明欄
H3年 4月 1日から H4年 4月 31日まで	1年 1月	鹿整振モータース	車体工	車体整備	所属工場責任者 氏名・印 (事業主・工場長・店長等) 左の在職期間は事実と相違ない 所属工場責任者氏名 鹿児島 太郎 (印)
H29年 5月 1日から R3年 9月 1日まで	4年 5月	鹿児島 飯金 塗装工場	車体工	車体整備	左の在職期間は事実と相違ない " 山本 三郎 (印)
年 月 日から 年 月 日まで	年 月				左の在職期間は事実と相違ない " (印)
年 月 日から 年 月 日まで	年 月				左の在職期間は事実と相違ない " (印)
合計	4年 5月				※

整備士合格	昭和	平成	年月日	合格	第 号	合格後の経験年数 (2級受講者は必ず記入の事)
昭和	平成	昭和	平成	合格	第 号	年 月
実務が短縮される学歴	昭和	平成	年月日	修了	科 程	第 号
				(卒業)修了	科 程	第 号

[注] (1) ※印には記入しないこと。  
 (2) 該当欄はもれなく記入すること。  
 (3) 受講申込の際技能者手帳又は合格証書を提示すること。  
 (4) 訓練校又は学校(機械科)卒で資格の生じるものは卒業(修了)証書を提示すること。  
 (5) 講習開始後受講を取り消しても受講料の払い戻しはしません。(受講できなかった場合も含む)

※  
総確認印

# 実務経験証明書

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊞

※分解認証を得ていない事業場の実務経験者のみ記載

生年月日 \_\_\_\_\_

## 1. 実務経験と期間と1カ月当たりの勤務時間

自動車車体整備士の実務経験とは、フレーム又はボディーの点検、修正、改造等の車体に係る整備作業

実務経験期間		合計期間
昭和 平成 令和	昭和 平成 令和	年 月 日

1カ月の平均勤務時間	時間	160時間以上
------------	----	---------

## 2. 車体整備に係わる時間と他の業務に係わる時間との比率

車体整備作業に占める割合	%	60%以上
--------------	---	-------

## 3. 雇用形態

事業主・正社員・アルバイト(週40H以上)
-----------------------

## 4. 事業場全体の作業内容と本人の作業の内容

・事業場全体の作業は、板金塗装整備作業・分解整備作業

・本人の作業内容は、該当項目に“レ”を記載する。

- バンパの脱着・取替・補修
- フロントフェンダー・ボンネットの脱着・取替・補修
- ボデーフレームの点検・修正
- フロントボデー骨格部分の補修・取替
- 灯火装置類の脱着・取替
- ドアパネルの脱着・取替・補修
- インstrumentパネル等の内部装飾品の脱着・取替
- イス・シート関連品等の脱着・取替
- クォーターパネルの取替・補修
- ロッカーパネル取替・補修
- トランクパネルの脱着・取替・補修
- バックパネルの取替・補修
- ワイヤレスハーネスの補修・取替
- その他関連補機部品の脱着・点検・取替

## 5. 工場の設備・工具等の一覧表又は写真 …… 別紙のとおり

## 6. 作業場の見取図(寸法入り)又は写真 …… 別紙のとおり

## 7. 整備士免許取得者による指導の有無

- 当事業所に車体整備士資格を取得している整備士はいない。
- 当事業所には車体整備有資格者 \_\_\_\_\_ 名おり、上記の作業を指導しています。

令和 年 月 日

事業場名

所在地

事業者名

㊞

別紙 5.工場の設備・工具等の一覧表又は写真

フレーム修正機及び車両保持台

板金用油圧機器

アーク溶接機

スポット溶接機

ガス溶接機

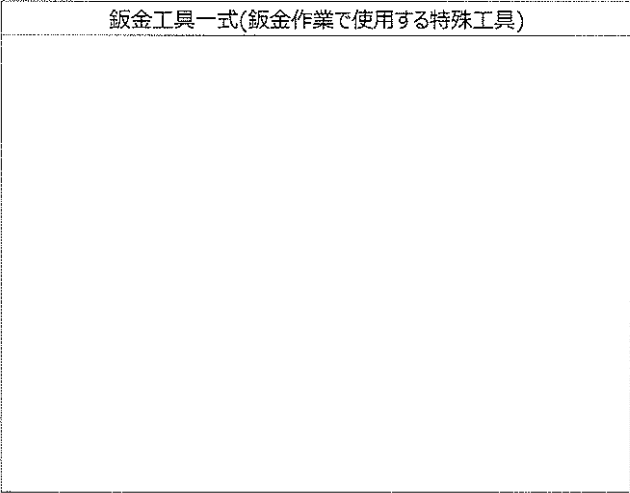
サンダー

ポータブル・グラインダ

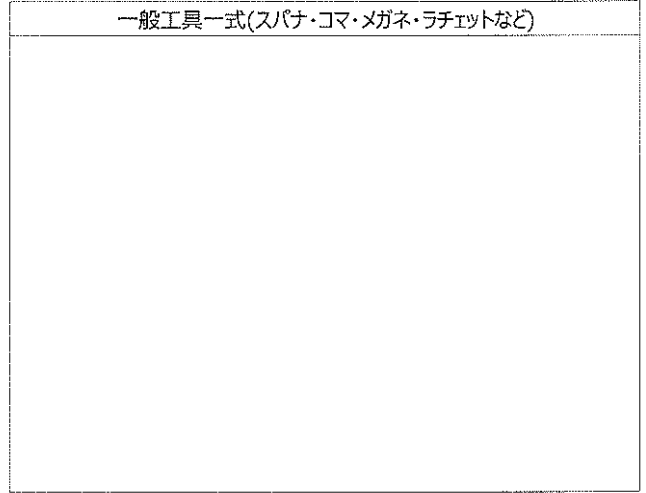
ポリシャー



钣金工具一式(钣金作业で使用する特殊工具)



一般工具一式(スパナ・コマ・メガネ・ラチェットなど)

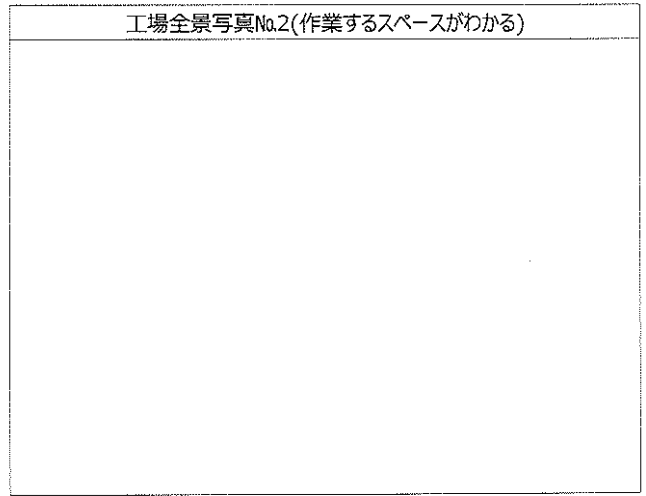


別紙 6.工場の見取図(寸法入り)又は写真

工場全景写真No.1(看板や工場の規模がわかる)



工場全景写真No.2(作業するスペースがわかる)



工場の見取図

